

名古屋文理大学短期大学部の学生募集停止についてのQ&A

	質問	回答
Q1	なぜ、短期大学部の学生募集を停止するのですか	<p>本学園は、名古屋文理大学と名古屋文理大学短期大学部（以下、短期大学部という。）を設置し、「食」「栄養」「情報」の教育研究を通じて人材育成に努め、来年2026（令和8）年に70周年を迎えます。</p> <p>2025（令和7）年4月には、名古屋文理大学大学院健康情報学研究所を開設し、これまで培ってきた「健康科学」と「情報科学」分野の更なる高度な教育研究を目指します。</p> <p>また、名古屋文理大学では、全学的に「数理・データサイエンス・AI教育」プログラムを拡充し、学科別では、管理栄養士養成課程の健康栄養学科では病院における長期実習プログラムを新たに実施、フードビジネス学科では食まつわる環境問題やSDGsの学びを充実するなど、実践的で高度な管理栄養士の養成、フードビジネス分野の人材育成、情報メディア分野の人材育成を目指して順次改変・拡充を行います。これにより2028(令和10)年度を目標に学部学科の改組を計画しています。（※本計画は現在構想中（予定）であり、変更となる場合があります。）</p> <p>ますます発展する本学園の新たな教育研究体制にご期待いただきたく存じます。</p> <p>このように大学院の開設や大学の改組計画をすすめるなかで、18歳人口の将来動向や現在の学生募集状況に鑑み、短期大学部は、1966(昭和41)年以來の短期大学としての教育研究活動を順次終了いたします。</p> <p>短期大学部は、2026（令和8）年度学生募集を実施した後、2027（令和9）年度学生募集を停止し、最後の学生の教育を確実に実施した後に、2028（令和10）年3月以降に終了する計画です。</p>
Q2	なぜ、この時期に短期大学部の学生募集停止を公表したのですか	<p>短期大学部の最後の受験生となる現高校3年生〔2026（令和8）年3月卒業〕の方々の不安を少しでも払拭していただくことを目的として、学生募集停止時期の2年前にあたる2025（令和7）年春に公表することといたしました。</p>
Q3	短期大学部の2026（令和8）年度入学生向けの広報展開は実施されますか	<p>2026（令和8）年度入学生向けにオープンキャンパスを開催いたしますので、進学を考えている方はぜひご参加ください。大学展などの進学ガイダンスや高校内ガイダンスへの参加もあります。また、短期大学部HPにおいても募集していますが「高校生スイーツコンテスト」も6月8日(日)に開催いたします。</p>
Q4	短期大学部の教育をこれまでどおり受けられるのですか	<p>在学生（1年生・2年生）および2026（令和8）年度入学生含め、栄養士や製菓衛生師の指定養成施設であることに変更はなく、資格・免許および学位（短期大学士）取得のための教育課程をこれまでどおり提供します。卒業要件や単位認定方法も変更ありません。</p>
Q5	短期大学部のサークル活動や大学祭はこれまでどおりおこなわれるのですか	<p>これまでどおりおこないます。例年5月に体育祭、10月に名栄祭（大学祭）をおこなっています。在学生（1年生・2年生）および2026（令和8）年度入学生含め、様々な活動や行事を通して、これまでと変わらない学生生活を送れるよう努めます。自治会活動への支援も継続します。</p>
Q6	短期大学部の就職支援や編入学支援はこれまでどおりおこなわれるのですか	<p>最後の卒業生を送り出すまで、これまでと同様にキャリア支援担当職員による相談、キャリア支援講座、学内企業説明会や模擬面接等を通して、就職サポートをおこないます。</p> <p>また、名古屋文理大学への編入学（学内奨学金制度あり）をはじめ、他大学への編入学斡旋も引き続きおこないます。</p>
Q7	短期大学部の奨学金はどのようになりますか	<p>在学生（1年生・2年生）および2026（令和8）年度入学生の方は、これまでどおり日本学生支援機構（JASSO）の奨学金を利用することができます。また、本学独自の奨学金も引き続き継続します。</p>
Q8	短期大学部の授業料の値上げはありますか	<p>授業料とその他費用の値上げは予定していません。</p>
Q9	短期大学部の成績証明書や卒業（見込）証明書の発行はどのようになりますか	<p>在学中は、これまでどおりC館1階事務室設置の証明書自動発行機で発行することができます。卒業後は、最後の卒業生を送り出すまで短期大学部学務部に対応します。短期大学部閉学以降は、名古屋文理大学事務部に対応する予定です。</p>